

社団法人 日本セラミックス協会 関西支部 第13回若手フォーラム開催案内

主催 社団法人 日本セラミックス協会関西支部

協賛 社団法人 日本化学会、社団法人 応用物理学会、社団法人 日本材料学会、ニューセラミックス懇話会

日時 2010年10月15日(金)13:00～16日(土)11:20(1泊2日)

会場 晴嵐会館

〒520-0834 滋賀県大津市御殿浜6-28(京阪・粟津駅1分)

TEL:077-537-1395 FAX:077-537-1472

参加人数 約60名

テーマ 『セラミックスの新展開』～構造・機能の発見と応用～

開催趣旨

関西支部では若手の勉強と交流・情報交換のため、毎年秋に1泊2日のフォーラムを開催しています。このフォーラムは、第一線で活躍する講師による最新の話題提供をもとに参加者全員で討論を行うことで理解を深め、また討論を通して若手同士はもちろん、講師の先生方や関西支部所属のセラミックス関連の大学・公研の先生や企業の技術者たちと交流できる企画です。

今回は特別企画として、元・奈良国立文化財研究所の肥塚先生より、次代を担う若手へ向け、『古代ガラスの考古学的研究』の題目でご講演頂く予定です。さらに、セラミックスの構造と機能を視点に、ミクロ構造から原子レベル、構造材料、電子材料、エネルギー材料等、幅広いテーマを集めています。今まで知らなかった分野の情報に触れ、新たな研究の展開のヒントとなるような議論や情報があるはず。大学関係者のみならず、産業界からも多数の参加をお待ちしています。

プログラム

10月15日(金)

第一部 「ナノ構造セラミックスの新展開」

講演「Al₂O₃-TiO₂-MgO系での微構造制御による可撓性セラミックス開発と制振材料への応用研究(仮題)」

嶋津 季朗 先生(株式会社 INAX)

講演「水溶液プロセスによる金属酸化物ナノ構造体の創製」

増田 佳丈 先生(独立行政法人 産業技術総合研究所)

第二部 特別企画「ガラスの不思議、発見」

講演「古代ガラスの考古学的研究」

肥塚 隆保 先生(元・奈良国立文化財研究所)

会社発表「製品や事業紹介」(企業参加者・4～5社)

10月16日(土)

第三部 「セラミックス材料の新たな構造・機能」

講演「全固体リチウム電池への応用を目指したガラスセラミック固体電解質の研究」

林 晃敏 先生(大阪府立大学)

講演「第一原理計算、STEM、EELSによるナノ構造セラミックスの原子・電子構造解析」

溝口 照康 先生(東京大学)

参加費 日本セラミックス協会・協賛学協会員 : 一般11,000円/学生8,000円

日本セラミックス協会シニア会員・永年継続会員 : 8,000円

関西支部賛助会員企業 : 1名8,000円/2人目からは11,000円

会員外 : 一般16,000円

なお、上記参加費には、夕食・宿泊・朝食・テキスト代を含みます。参加費は会場にて当日受け付けます。

参加申込方法 (1)氏名(ふりがな)、(2)所属(勤務先・役職)、(3)会員種別、(4)性別、(5)連絡先とe-mail

アドレスを記し、e-mailにて下記へお申し込み下さい。

申込・問合せ 若手フォーラム事務局: 日本板硝子(株) 瀬戸啓充 hiromitsu.seto@nsg.com

申込締切 2010年9月25日(定員になり次第締切)